

学校のトイレ研究会研究誌 14号

# 学校トイレの 挑戦

2 0 1 1



## 「高校生のためのトイレ」

- 公立・私立高校トイレ最新事例
- 全国高校トイレアンケート調査結果

## 「子どもたち全員が快適なトイレ」

- 耐震化に合わせた小中学校トイレ改修
- トイレを我慢する子どもは減ったか？

# CONTENTS

3

## 子どもでもない。 大人でもない。 高校生のための 学校トイレ

公立高校

- ・横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校
- ・栃木県立 佐野東高等学校

私立高校

- ・学校法人 常翔学園 常翔学園高等学校
- ・学校法人 八雲学園 八雲学園中学校高等学校
- ・学校法人 向上学園 向上高等学校

16

アンケート調査から見える

## 高校トイレの現状と未来

2010年度 全国高校トイレ実態調査

20

高校生座談会 2010

## 高校生が求めるトイレ空間

22

耐震補強工事に合わせてトイレ改修

## 大阪府和泉市の挑戦

- ・伯太小学校 ・南松尾小学校 ・黒鳥小学校
- ・郷荘中学校 ・光明台中学校

26

小中学校 学校トイレ事例集

## 快適な学校トイレへの挑戦

- ・千葉県横芝光町立 横芝中学校
- ・福井県あわら市立 芦原中学校
- ・京都府精華町立 川西小学校

学校のトイレ研究会研究誌 14号

●編集・発行

学校のトイレ研究会

株式会社 岡村製作所  
株式会社 木村徳太郎商店  
シーアイ化成 株式会社  
住友ベークライト 株式会社  
TOTO 株式会社  
株式会社 ベスト  
ロンシール工業 株式会社

●事務局

〒154-8540 東京都世田谷区桜新町 2-24-2  
TOTO 株式会社内  
TEL:03-5451-1150 FAX:03-5451-1097

●発行日

平成 23 年 6 月 1 日

●編集委員

株式会社 岡村製作所  
株式会社 木村徳太郎商店  
シーアイ化成 株式会社  
住友ベークライト 株式会社  
TOTO 株式会社

中島徳二  
遠藤 茂  
奥村昭夫  
越澤真一  
河村 浩  
内田達也  
古島 健  
古川浩代  
永吉 馨  
西本真治

株式会社 ベスト

ロンシール工業 株式会社

●編集協力

有限会社 六本木制作所

二木 孝  
植木美和

●アートディレクション/デザイン

平田 毅

●印刷・製本

株式会社 日報

●表紙写真

常翔学園高等学校トイレ (P8 掲載)



某公立高校トイレ2010年撮影

学校のトイレ研究会は1996年に発足以来、子どもたちのより良いトイレ環境づくりを目指し、数多くの小中学校のトイレを調査・研究し、実態や最新の取り組みをご報告してきました。その子どもたちが卒業後に通う高校のトイレはどうなっているのだろうか？

今号では、公立高校や私立高校における教育環境向上のための先進的な取り組みと、その一環であるトイレづくりにおける数々の工夫を特集します。

一方、我々の予想を大きく超えて、高校に設置してあるトイレの大多数が5K(臭い、暗い、汚い、怖い、壊れている)の問題を抱えていることがわかりました。

全国公立高校を対象としたアンケート調査においては、校舎の耐震化や空調などを大きく上回り、トイレが改善の必要な場所の一位となりました。大便器の洋式化、清掃の乾式化、節水などエコロジーに配慮した設備更新の3要素が、早期に求められています。

後半では、校舎の耐震工事と同時に行われた小中学校のトイレ改修を特集しています。改修前後のアンケートでは、トイレの使用を我慢する子どもたちが確実に減少していることがうかがえます。

子どもたちの生命を守る耐震化と健康を守るトイレ環境の改善が、着実に進んでいくことを願います。

子どもでもない。  
大人でもない。  
高校生のための

# 学校トイレ

「学校のトイレ」と一言にいても、小学生や中学生のためのトイレと、高校生のためのトイレを同列に語るのは難しい。高校生の場合、次のステップは大学生や社会人。大人の二歩手前の心と体を持った生徒に適したトイレとは一体どんなものだろうか？ 高校生にふさわしいトイレづくりに挑戦した高校の事例を通し、高校トイレの今と未来を考える。



横浜市立  
横浜サイエンスフロンティア高等学校

公立  
高校

日本有数の研究者たちが支援。  
高度な科学教育を  
支える学舎。

大学研究室と見まがう  
20あまりの実験室が並ぶ  
横浜市・鶴見川を臨む広大な敷地に建つ真新しい建物。広々とした廊下を歩いていくと、その両側にはガラスで仕切られたいくつもの部屋が並ぶ。「ナノ材料創製室」「ナノ材料評価室」「電子顕微鏡室」「生命科学実験室」……。

「環境生命実験室」と記された部屋は無菌操作区域、培養区域、馴化区域などに分類され、白衣姿の男女が真剣なまなざしで実験に没頭する。その様子はまるで理化学系の大学か、化学メーカーの研究所だ。

しかし、ここはれっきとした高校の校舎。実験を行っているのも真正正銘の高校生である。





# 先端科学を学ぶ 仲間と共鳴する場、 カフェテリア、ラウンジ、 そしてトイレ。

徹底した本物志向が生む、  
学校の求心力

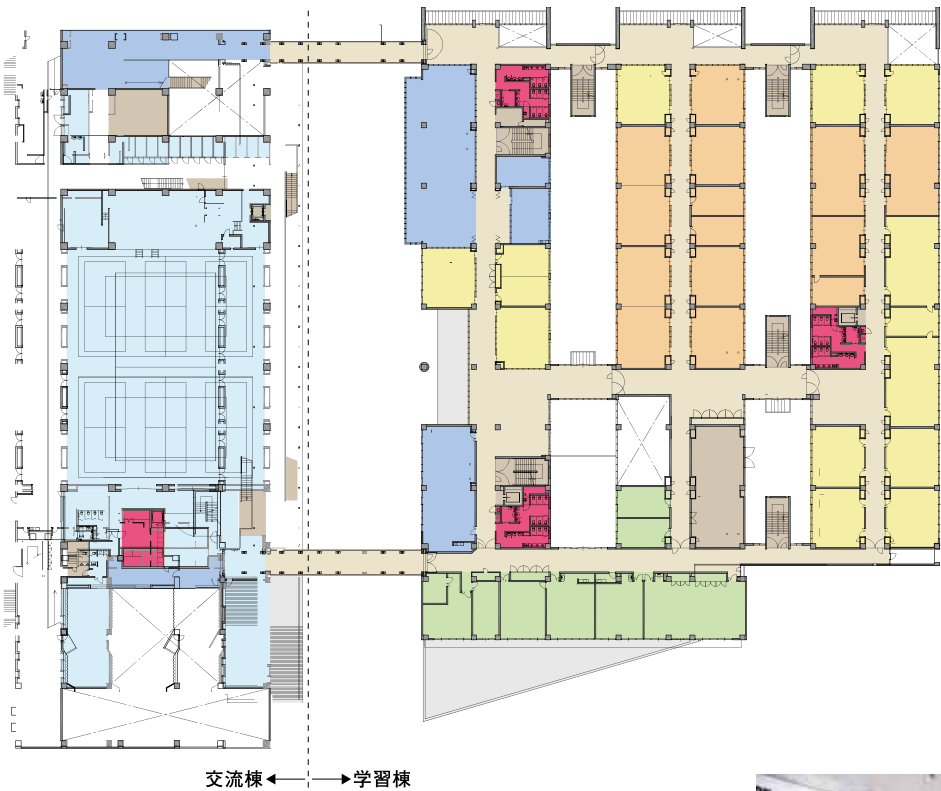
理数科に特化した高校として  
2年前、横浜市に誕生した「横  
浜サイエンスフロンティア高等  
学校」は教育施設、カリキュラ  
ム、サポート体制……、あらゆる  
ものが従来の高校教育の範疇  
を超えている。冒頭で触れた各  
種実験室のほか、DNAシー  
ケンサー、天体観測ドーム、ク  
リーンベンチなどを備え、この  
環境で生徒たちは3年生までに  
理数科目を29単位以上履修する  
ことを義務づけられる。

また、準備段階から開校に尽  
力した常任スーパーアドバイザー  
1の和田昭允氏（東京大学名誉  
教授、理化学研究所研究顧問）  
をはじめ、藤嶋昭氏（東京大学  
特別榮譽教授、東京理科大学学  
長）など、世界の最先端で活躍  
する科学者5名がスーパーアド  
バイザーとして、教育内容や方  
法を指導・助言。加えて、最先  
端科学技術分野をリードする多  
くの研究機関、大学、企業の研  
究者が「サイエンスリテラシー」  
と銘打った講義、研究や実験の  
指導を毎週行う点も生徒たちに  
は大きな魅力だ。

このようにユニークな高校が  
生まれた背景として横浜市教育  
委員会高校教育課の木田茂樹課  
長は「高校と生徒のミスマッチ」

【横浜サイエンスフロンティア高等学校】

- 竣工年月/2008年12月
- 所在地/神奈川県横浜市鶴見区小野町6番地
- 生徒数/男子517名、女子190名
- 施主/横浜市
- 設計監理/株式会社 松田平田設計
- 施工/戸田・馬淵建設企業体
- 敷地面積/29,200㎡
- 延床面積/25,505㎡
- 構造規模/鉄筋コンクリート造一部S造 地上5階



## 「田の字」型の回遊動線が コミュニケーションを誘発

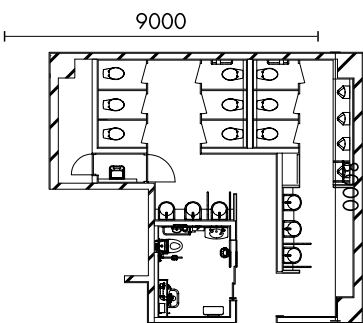
平面図左がアリーナ、ホール、カフェテリアなどがある交流棟。右の3棟が教室、実験室などがある学習棟。学習棟は「田の字」型に廊下を通し、自由に短時間で移動ができる工夫がされている。トイレは3カ所に配置され、トイレの隣にはコミュニケーションの誘発を期待させるラウンジが配置されている。

● 2階平面図

凡例

- 学習諸室 (普通教室)
- 学習諸室 (科学技術基礎4分野)
- 学習諸室 (特別教室)
- フリースペース・廊下
- 共用部
- アリーナ (屋内体育施設)
- 共用施設
- 管理諸室
- トイレ

● 学習棟トイレ



### アカデミックな香りが 校舎のあちこちに

1. 広々としたカフェテリア。鶴見川を臨むリバービューラウンジを併設し、生徒たちは週1回、ここで和田先生を囲み、お茶とクッキーを食べながら和田サロンに参加する。
2. 研修旅行（修学旅行）は2年次の10月。マレーシアのマレーシア工科大学や高校において英語でプレゼンテーションを行う。写真は廊下に掲示された発表資料。
3. ホールではスーパーアドバイザーの特別講演が開かれるほか、多くの研究者が講演を行う。







**トイレドアにも  
高校生のトイレらしい工夫**

4. 学校トイレのドアは常時「開」が一般的だが、ここでは便器が見えないように空状況が認知できる、15度開いた状態を維持する方法がとられている。ホテルなどで見られるスタイル。  
5. 便器はすべて洋式便器を採用。各トイレ、1ブースだけはウォシュレットを設置した。



と「高校の無個性化」との関係を描く。指摘する。「高校進学率が上昇すると、目的意識を持たずに入学してしまう生徒も少なくない。また、高校自体も横並びの意識が強く、特に普通科高校は学ぶ内容にこれといった違いがない。学校の特色が明確でなければ、子どもたちはその高校に何をしに行くのか、という目的意識を持ちにくかった」

**コミュニケーションと  
トイレの濃密な関係**

こうして生まれた「横浜サイエンスフロンティア高等学校」の生徒たちは、自身の興味であ

る科学探究への努力を惜しまない。特に注目したいのは生徒たちが頻繁に行うディスカッションだ。疑問が生まれ、アイデアを思いつくと、同級生、異学年、男女の垣根なくコミュニケーションがはじまるのはこの学校の生徒ならでは。そのため施設設計も万全で、設計を担当した松田平田設計は、人が滞留しやすい「溜まり」を多く設けたという。「学習施設以外でも、頻繁にコミュニケーションがとれるよう、『ラウンジ』をフロアあたり6〜7カ所に設けました。ここにはソファが置かれ、いくつかのラウンジには自由に使えるパソ



**すべてのトイレに多機能トイレを設置。  
これこそが本当のバリアフリー**

短いアプローチを備えたトイレエントランスと3つのトイレの内部。明るいトイレを目指し、自然光も取り込めるようトイレに窓を設置。省エネに配慮し、照明は人感センサーを採用。また、洗浄水は雨水を利用。手洗いはすべて自動水栓。学校建設はPFI事業で行われ、トイレの維持管理も事業に含まれるため、維持管理も完璧に行われている。



トイレの隣にある「ラウンジ」(左の写真はPCラウンジ)。ソファが置かれ、授業の合間などのコミュニケーションに利用される。また、実験やサイエンスリテラシーの講義前はパソコンで論文などを検索する生徒の姿がよく見られるという。

繊細で専門的な機器が多いため、機器によっては操作にライセンスが必要。今日は「エネルギー分散型蛍光X線分析装置」の操作実習。

# 生徒の自律性を高め、 知の好循環を。

横浜サイエンスフロンティア高等学校  
常任スパーアドバイザー

和 だ あ き よ し  
和 田 昭 允 先生



1952年、東京大学理学部化学科卒業。DNAの機械での高速自動解析に世界で初めて取り組む。東京大学理学部長、理化学研究所横浜研究所ゲノム科学総合研究センター初代所長などを歴任。東京大学名誉教授。

知識を詰め込む形式知の押し付けだけでは、生徒は育たないのです。生徒は、「好き」にさせれば面白がって自分からどんな知識を吸収するんですよ。そう語る和田昭允常任スパーアドバイザー。

これからの高校教育についてお話を伺いました。  
教育の基本は3つあると考えられています。1つ目は「学校教育」。2つ目は「家庭教育」、3つ目は学校と家庭以外の全般を融合させた「折々の教育」です。「学校教育」は、決まったことをきちんと教わる形式的な知識を学ぶところです。「家庭教育」は、今の時代、両親を頂点とした三角形になっているかもしれないが、本当は両親を中心にした丸型の社会になっています。「折々の教育」とは、学校教育や家庭以外の全ての事。放課後や課外活動、観光などもその括りに入ります。学校と家庭以外の全ての経験を包含した折々の教育が大事で、その3本柱が常に繋がっていることが重要です。

家庭教育や折々の教育では、形式知ではなく暗黙知という未だ言葉にならない知が育ち、蓄積されていきます。

よく、「好きこそものの上手なれ」と言いますね。生徒は「好き」にさせれば、自ら学んでいきます。では、どうすればその状態に持っていけるか。1の知識がはいると、知恵を使って脳にある10倍位の暗黙知と結び付き自分の中で新たな知識が生まれる。わずかな知識でも自分の知恵を使って膨らませると、面白くなって、また知恵を使う。また面白くなる。このような知識と知恵のサイクルに生徒を持

っていくこと。このサイクルがキーポイントです。

**本校の施設面、特にトイレについてはいかがですか？**

産学連携教育で本当に様々なお客様が本校を訪れます。「学校の印象はトイレを見れば分かる」ということは常に意識しています。生徒や先生同士のコミュニケーションを大事に考え、ラウンジの近くにトイレが配置されており、生徒はコミュニケーションをしながらトイレを利用することもあります。一方、1人になる場所、トイレでもサイエンス出来る環境が整備されたということは大変満足です。

## 交流棟の設備は外部の人々が訪れることを想定

1. 学習棟のトイレにも標準的な多機能トイレが設けられているが、交流棟の多機能トイレは多くの人が入り出すことを想定し、ベビーベッド、ベビーカー、オストメイトなどを完備。
2. 交流棟の剣道場脇に設けられた更衣室、トイレ、シャワールーム。男女それぞれ、3つのシャワーブースを備えている。



コンも常設してあります」  
面白いのはトイレが必ず、このラウンジに隣接している点だ。最近、トイレをコミュニケーション空間ととらえる学校は多いが、この学校はそれをさらに推し進めた結果だ。たとえばトイレで一緒になった友人同士の間で、何か議論がはじまったとする。するとそのまま隣のラウンジに直行しパソコンを立ち上げ、論文などを検索し、議論を続ける……。一般的にはレアケースに思えるこんな行動も、ここではごく自然なシーンだという。多くの高校は個人の大学受験を最重要課題と位置づけるが、ここで重視されるのは「知の探

究」であり、大切なのは競争ではなく共に高め合う姿勢だ。そういう意味では、トイレを含めたすべての施設が学校の理念を支えているといえそう。だ。  
**日本を背負う人材を  
国際都市・横浜から**  
「ほんもの体験」を提唱し続けた和田氏をはじめ、多くの関係者の尽力で生まれたこの学校の未来について、「まだはじまつたばかり」と前置きしつつ、木田課長はこう結んだ。  
「科学技術立国・日本を背負うような人材が、国際都市横浜から世界に羽ばたいてくれることを願っています」



# 女子校から男女共学へ、 教育形態の変化に対応。

## 伝統ある

## 県立佐野女子高校の再編

2011年度から佐野東高等学校として男女共学化により学校校名を変えた佐野女子高等学校は、2010年度まで女子校として103年の歴史があり、多くの卒業生を輩出してきた。

男女共学化にともない、既存校舎に男子トイレの新設、現存の女子トイレのすべてが今回一新された。計画中は和式便器と洋式便器をどのような比率にするか、清掃方式はどうするかなど、学校関係者の中でもさまざまな議論が持ち上がったという。当高校の環境美化担当でトイレ清掃の指導担当でもある小泉旬子先生も、当研究会の冊子を取り寄せていただき、学校関係者のみんなで熱心にご研究いただいた。

最近の小中学校も洋式化が進んでいること、今はほとんどの

家庭が洋式なことを踏まえ、改修前は1ブースを除き、すべて和式便器だったトイレだが、洋式便器を中心に設置するよう要望した。

「和式便器がなくなるの？」と当初難色を示した生徒もいたようだが、現在苦情はまったく上がっていないという。小泉先生は「便座クリーナーを各ブースに用意しています。また、『学校のトイレは冷たい』という印象があるが、便座が温かいので、これは生徒にとって非常にメリットが大きいのでは」と話す。

これからは、男女共学の新たな歴史とともにトイレの「きれい」を維持していくことだ。清掃方式がどうであれ、清掃後の水分を残さずいかにドライに保つかが衛生的に影響する。清掃方式は今回乾式に変わったが、小泉先生は、清掃する生徒に丁寧に指導すれば責任を持つて応えてくれるという。2010

0年ヒット曲「トイレの神様」を15分の清掃時に流すアイデアを提案しているそうだ。

## トイレ改修後の 心境の変化

小泉先生：「トイレ工事を通して、トイレに対して考える時間が増えましたね。」

これまで『今あるトイレをどうきれいに維持していくか』ということを中心に考えていましたが、『トイレをこう変えてほしい』『他校（小中も含めて）のトイレはどうか』という方向に意識が向かうようになりました。事務長稲見先生：「パブリックのトイレは本場にきれいなかった。ふと気付くと世の中はすべて乾式化されている。学校のトイレを当たり前と、とらえていたが、意識が変わりました」。公立高等学校のトイレも、時代に合わせて変化の時期に来ているのではないだろうか。



職員用男子トイレ（未改修）



2



3



1

1. 使用後は自動で洗浄する自動洗浄小便器を設置。壁掛けタイプなので便器下の清掃もラクラク。
2. 洗面器は壁掛けタイプのシンプルな仕様。手洗いは、もちろん自動水栓、非接触に配慮。
3. 大便器ブースの1つには、壁に手すりが設置された。暖房便座が採用されているので、座った時にヒンヤリとせず、使用感も好評。清掃方式を乾式にしたら、1つ残した和式便器のブースの清掃がしにくいと小泉先生。

### 【佐野東高等学校】

※2011年度4月から男女共学化。1年生は佐野東高校生、2・3年生は佐野女子高校生と、2体制をとる。

- 竣工年月/2010年3月
- 所在地/栃木県佐野市金屋下町12
- 生徒数/男子89名、女子546名
- 構造規模/RC造3階



大きな窓から差し込んだ日差しがトイレスペース全体に広がる。トイレの明るさは美しさ、快適さ、そして安全につながる。

3

大阪府大阪市  
学校法人常翔学園  
常翔学園高等学校

私立  
高校

高層建築の特性を生かした  
広い窓から差し込む  
日射しが演出する  
開放的で明るいトイレ。

【常翔学園高等学校】

- 竣工年月／2010年7月
- 所在地／大阪府大阪市旭区大宮 5-16-1
- 生徒数／男子1,230名、女子430名
- 施主／学校法人常翔学園
- 設計監理／株式会社 服部建築事務所
- 施工／フジタ・東急建設・堀田工務店共同企業体
- 建築面積／1,518.87㎡
- 延床面積／16,362.76㎡
- 構造規模／SRC造 12階

## 少子化時代に合わせた 攻めの高校改革

日本の教育に携わる人々にとって「少子化」は避けて通れない課題だ。とりわけ義務教育ではない高校にとって、進学率が上昇し、ほとんどの子どもたちが高校進学するようになった今でも深刻な問題である。

それは関西の工業発展に貢献する人材を多数輩出し、ラグビーの名門校として全国に名を馳せた大阪工業大学高等学校も例外ではなかった。1933年に男子校として開校したが、1972年に男女共学となったことを皮切りに、21世紀に入ってから工業科を廃止し、学校名を現在の「常翔学園高等学校」に改称。2009年には普通科を「スーパーコース」「特進コース」「薬学・医療系進学コース」「文理進学コース」と4コースに改編。2011年には「常翔学園中学校」を開校した。時代に合わせた変化を推し進めた結果、幅広い中学生から支持を得て、現在に至っている。

こうした改革を進めている中で昨年、新校舎が完成した。

## 制服変更、学校名改称で 女子生徒が急増

大阪中心部から淀川をさかの

ほるように高速道路を走ると、間もなく見えてくる地上12階建の高層建築がそれだ。同じ学園グループの大阪工業大学と並んで建設された新校舎は大学と同様、ベイスになるレンガ色にアクセント色の白が映える特徴的な校舎で、高校とは思えない威容を誇っている。

常翔学園高等学校は男女共学になって久しいものの、地元大阪では工業系の学校として広く知られてきただけに、やはり男子生徒が目立つ高校だった。しかし、制服を変更した2007年、そして学校名を変更した2008年頃から女子生徒の数が増加。2004年に181人だった女子生徒が2010年には430人にまで増えている。

こうなると、「男子生徒中心の学校だから」という理屈は通用しない。新校舎の建設にあたって、特にトイレに関しては女子生徒に対する配慮が盛り込まれたという。

## トイレの大きな窓は 安全性向上にも貢献

トイレに入って感じる第一印象は「驚くほどの明るさ」。一般的なトイレが持つ薄暗さ、閉鎖性からここまでかけ離れた印象のトイレは珍しい。

「設計の責任者の方に最初にお

3



## 高層建築の新校舎のトイレは 明るさも眺望も抜群

1. 男女ともにトイレには天井から床までの大きな窓が設置され、昼間は照明が無くても十分な明るさが確保される。高層フロアではこの窓から、遠く山並みを望む。
2. 手前の12階建高層建築が完成したばかりの新校舎。2011年開校の中学校も一部施設を共用。奥には同じ学園グループの大阪工業大学校舎が並ぶ。
3. 男子トイレも女子トイレと同じような明るさが維持されている。



2





願いしたのが『明るさ』なんです。昼間なら電気をつけなくても、十分な明るさが確保できるくらい、なるべく大きな窓をつけるようにと」

常翔学園高等学校をはじめ、学園グループ内の大学施設も手がける財務部施設課の大江正造係長はイメージも大切だが、災害時などの停電も考えたとき、階段とトイレの明るさはもっと重視すべきこと、と安全面からも窓の役割を訴える。

学校のトイレでは大きな窓を取り付ける場合も、すりガラスや型板ガラスなどで外部からの視線をさえぎることが多い。しかし、周囲に同じような高さの建築物がない高層建築の場合は別だ。常翔学園高等学校のトイレが獲得した贅沢な明るさと景観は、12階という高層校舎だからこそそのものだろう。

### 高校生に必要な設備、 高校生が望む設備とは

トイレ内を見回すと、美しいが華美ではない。むしろ、シンプルで機能的だ。しかし、設備を一つひとつを見ていくと、男女トイレともに設置された全身鏡、トイレブースや男子小便器前に作られた荷物置き、女子トイレブースのプライバシーを確保した間仕切り、擬音装置（音



女子トイレ全景。小さめの洗面ボウルを採用したことで、洗面台周辺の空間が広く感じられる。

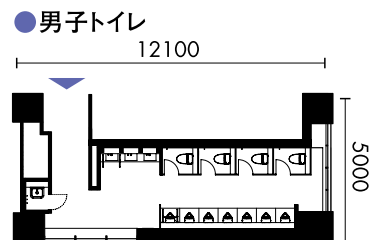
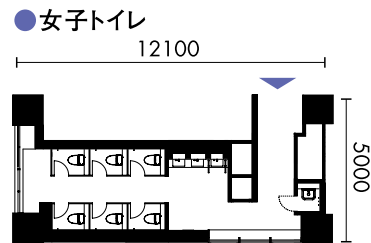
### 3 常翔学園高等学校

## 学園グループの 多くの事例から 導き出された トイレ環境と設備。



#### 配慮が行き届いた設備

1. 男女トイレともに、全身鏡を設置。
2. 女子トイレブースは間仕切りを天井まで立ち上げ、扉上の空間はパネルで目隠し。
3. ウォッシュレット一体型便器、ホテル用リモコン（特殊対応）を標準に。女子トイレには擬音装置（音姫）を設置。
4. 便器背後に荷物が置ける面台を。



#### 校内のアカデミックな 仕掛けが目まぐるしく

5. 新校舎のライトコアに吊された地球の自転運動に連動する「フーコーの振り子」。常翔学園高等学校のシンボリック的存在。
6. 校舎エントランスは広々とした吹き抜け。校舎内に設置されたさまざまなオブジェは生徒の知的好奇心を揺さぶる。





7



8

「今回のトイレはかなり納得できるものができた」と自負していますが、一足飛びに完成したわけではなく、これまでに学園グループ内に属する3つの大学のトイレ改装・新設で試行錯誤してきた結果が生きています」  
 大江係長の言葉通り、どんな仕事にもトライ&エラーは重要だが、学校のトイレを何度も作る経験を得るのは難しい。しかし、生徒も変わり、学校も変わり、トイレに対する考え方も変わってくる中で、生徒のニーズを的確に捉えたトイレ作りは、学校の魅力を高めることにつながっていくはずだ。



男子トイレ全景。教科書などを持って移動する生徒に配慮し、小便器前の面台が荷物置きになっている。

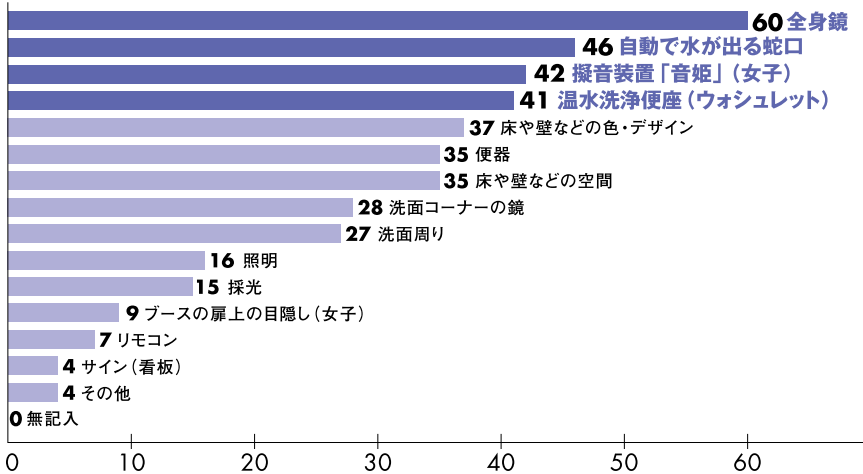
高層校舎のため、複数の多機能トイレを設置

7. 多機能トイレは人の出入りが多い1階と、対応しやすいよう職員室がある5階と9階に設置。

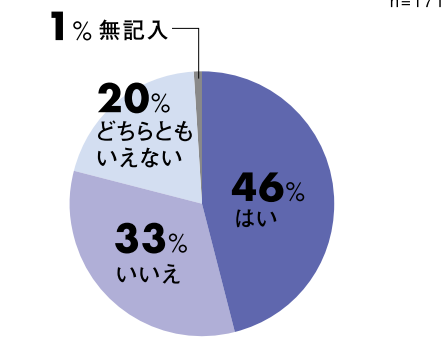
8. 現在、多機能トイレが必要な生徒はいないが、将来の入学や生徒が怪我などをした場合に備え、多めに設置した。

●常翔学園高等学校・2年生のみなさんに新しいトイレについてたずねてみました。

Q. 新しくなったトイレのどこが気に入っていますか? (複数回答) n=171

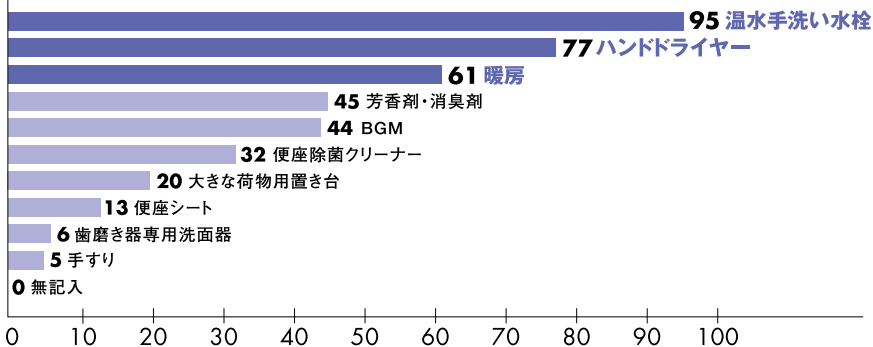


Q. 身だしなみを整えるためだけにトイレを利用することがありますか? n=171



※参考  
 ●男子のみ(n=104) はい35% いいえ41%  
 ●女子のみ(n=67) はい63% いいえ21%

Q. 学校トイレの設備で、現在の設備のほかに「あったらいいな」と思う設備は何ですか? (複数回答) n=171



高校生のトイレは身だしなみを整える空間でもある

新校舎完成後、トイレに関するアンケートを2年生男女に実施。小中学校と違い、男女問わずトイレを「身だしなみを整える空間」と考える生徒が多くなっていく。また、取材中、女子に擬音装置(音姫)が無かった以前のトイレでの対処法をたずねると、水を流して音を消していた、という意見が多数を占めた。擬音装置は節水の観点からも検討の価値がありそうだ。

「常翔学園高等学校  
 トイレ改修後アンケート 2010年」より  
 対象：高校2年生171名(男子104名 女子67名)

# 本物志向のトイレで 感性を育て、 トイレ清掃で 自ら考える力を育てる。

古いトイレなのに  
 異臭がしない！

昔の学校のトイレといえば臭い、汚いが代名詞で、これまで、そんなトイレを数多く目にしてきた。しかし、どんなものにも例外というものはあるようだ。70年余りの歴史を持つ八雲学園中学校高等学校が校舎の耐震工事を機に大胆なトイレ改装も行ったと聞き、うかがってみることにした。

しかし、最初に案内されたのは築20年を超えるトイレ。設置当時の和式便器も健在だ。校内に唯一残る、古いトイレだが、このトイレは八雲学園中学校高等学校のトイレに対する姿勢を教えてくれる。

実はこのトイレ、古いトイレ

ならではの異臭がほとんどしないのだ。湿式トイレなのに床もじめじめした感じがなく清潔だ。

壁面タイルの目地は白さを保ち、さすがに床タイルの目地は黄ばみも出ているが、20年以上前のものとは思えない。洗面台、掃除道具入れも整然としている。しかも、さらに驚いたことにこのトイレを清掃しているのは生徒だという事実。

トイレを見れば  
**本当の学校の姿がわかる**

最近、高校では公立高校でさえ、トイレ掃除は専門業者任せというところが増えているが、八雲学園中学校高等学校は伝統的に生徒がトイレ掃除を行ってきた。その理由を近藤彰郎理事長・校長はこう説明する。



美しい校内、清潔なトイレは  
 生徒たちの自主的な努力の賜物

1. 耐震補強工事が終わった校舎。正面の東校舎は斜張橋の原理を応用した「パラレル構法」を採用。建物内部のスペースを損なわず、室内からの眺望も確保される。
2. 校内の清掃を管理し、トイレの点検や消耗品の補充も行う美化委員の生徒たち。中学校、高校の各クラスから2名ずつ選ばれる。新しいトイレの天井にはBGM用スピーカーがあり、音楽が静かに流れる。



取材時に唯一、残されていた旧トイレ。2011年1月には改修された。

- 【八雲学園中学校高等学校】
- 竣工年月／2009年9月（第一期）  
2010年10月（第二期）
  - 所在地／東京都目黒区八雲2-14-1
  - 生徒数／986名
  - 施主／学校法人 八雲学園
  - 設計監理／鹿島建設 株式会社
  - 施工／鹿島建設 株式会社  
株式会社 西原衛生工業所
  - 敷地面積／5,490㎡
  - 延床面積／5,486㎡
  - 構造規模／RC造一部S造、木造 地上4階







2010年の二期工事で完成したメディアセンター棟2階に作られた図書室。都内の学校には珍しい木造混構造を採用し、採光にも配慮したことで、落ち着いた温かみのある空間に。

「子どもたちにマナーを教える場所として、トイレはとても重要な場所なんです。トイレは毎日使う場所ですが、女性は使っているところを誰にも見られませんが、人目があるところできちんと振る舞うのは当たり前ですが、誰の目もないところで後に使う人のことを考えて大切に使う。放課後にみんなでトイレ掃除をする中で、そういうことを自分で感じて、学びとってほしいんです」

生徒たちも中学校入学当初は「えっ、私たちがトイレ掃除をするの!」ととまどいを隠せないらしいが、掃除の様子を見ると、みんな手を休めることなくトイレ磨きに熱中している。美化ご担当の先生も「掃除した結果がしっかりあらわれる場所だからでしょうか、教室の掃除よ

り熱心なぐらいですね」と、太鼓判を押す。

確かにこの集中力で20年間磨かれれば、いかに古いトイレでも清潔に保たれるはずである。

**耐震工事を機に  
大胆なトイレ改修**

しかし、いかに清潔に保ってきたトイレでも時代の流れには逆らえない。2年間かけて行った耐震補強工事にもない誕生した新しいトイレは、学校のトイレとしては破格のクオリティ。特にブースの重厚感はとても学



近藤彰郎理事長・校長



重厚な意匠に負けない洗面カウンター。ホテルの洗面台のような大きさの鏡も生徒たちに好評。



都内老舗ホテルをモチーフにした重厚感のあるブース。ブース間の仕切りは天井まで立ち上げ、プライバシーを保護。



2

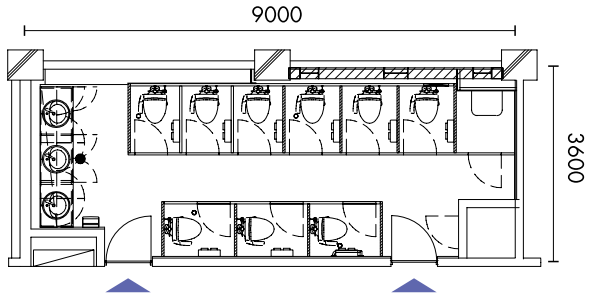
1. 水滴ひとつ残さず磨き上げる。飾られた花が女子校らしい。

2. 洗面台には生徒が後始末をするためのタオルが置かれている。

3. 床はモップで磨く、乾式清掃を採用。



● 2階 生徒用トイレ





# 学校のトイレから 学べることは まだまだ たくさんある。

## ハイクオリティのトイレ空間を 最新の設備が支える

1. 家庭や商業施設で使われるフタ付きの洋式便器を採用。今回の改修では和式便器は残さず、すべての便器は洋式に変更された。
2. 自動水栓を採用し、東京都水道局が推進する直結給水に変更。衛生面でも安心。
3. すべてのブースにウォシュレットと擬音装置（音姫）を備えている。
4. 衛生的なハンドドライヤー。ハンカチを濡らしたくない生徒たちに好評。



2



4



3



1

校のものとは思えない。「学校のトイレには合理性一辺倒なものが多いけれど、それでは、豊かな感性は育ちません。合理的であればそれでいい、という考え方に立った施設で育つと生徒たちはすべて合理的に考えるようになってしまう。そうなる『心の教育』はそこで終わりです。生徒たちは1日7、9時間、学校にいるわけですから、その環境に影響されやすい。ですから私はトイレも含めて学校の環境はできる限り、本物志向で整えるべきだと思っ

いるんです」

近藤理事長・校長のそんな思いを反映して生まれたトイレのモチーフは、なんと都内一流ホテルのトイレ！ 漂うオーラにも納得できる。そしてこの空間を支える設備は「全洋式便器」「ウォシュレット」「擬音装置」「自動水栓」「ハンドドライヤー」「人感センサー式照明」「音楽の流れるBGMスピーカー」……など。節水、節電、そして衛生面など、学校のトイレで考えられるほとんどの配慮がなされている。また、和式便器を残すかどうかでも議論になったが、ほとんど和式便器のブースを使用する生徒がいなかったため、すべての便器は洋式に変更された。

古くなったトイレを生徒全員



で大切に使い、きれいに磨き上げる一方、最高のホスピタリティと設備を持った一流ホテル並みのトイレを持つ。

「子どもはまだ、世界が狭いわけですから、どうしても考え方や見方が固定してしまふ。広い世界にはいろんな価値観があり

ますから、トイレひとつからも幅広い考え方を学んでほしいんです。私はそういうことも教育の役割だと思ってます」

生徒たちは今日もトイレを磨き続ける。卒業する頃には近藤理事長・校長の願いをきつと理解するに違いない。

メディアセンターに新しく作られた多機能トイレ。多機能トイレはスペースに入る器材が多く、煩雑になりがちなので、パッケージタイプのものを採用。高さやデザインが統一され、トイレ空間が美しく仕上がった。

# 生徒の男女比変化に 対応した女子トイレは 受験生も注目。

美しいトイレは  
学校の大きな特色に

公立高校とは異なり、私立高校は「進学」「スポーツ」など、さまざまな特徴づけを行うところが多い。それゆえに共学であっても、男女比率に偏りが生まれることも少なくない。

100年の歴史を持つ向上学園は建学時から男女共学だったものの、伝統的に男子比率が高く、事務長の佐々木茂穂氏によると、数年前までは女子の比率が3割にも満たなかったという。「全国レベルの運動部を多く抱えていることなども影響していたのかもしれないですね」

しかし文武両道を目指し、文理、選抜、特進の3つのコースを設けたところから次第に女子生徒の比率が高まり、現在では全体で4割、難関大学を目指す特進コースでは5割を超えた。

学校には活気と落ち着きが生まれましたが、その一方で女子トイレに慢性的な行列が見られるようになってしまったという。そのため、昨年度改修されたのが写真の女子トイレだ。改修前のトイレは洋式便器、和式便器2つずつで構成されていたが、ブース総数を7つに。すべてを洋式便器とし、ウォシュレットと擬音装置（音姫）を備えた。

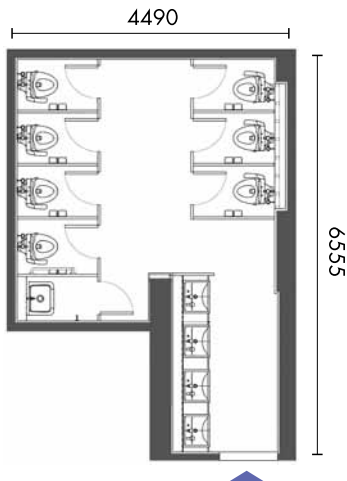
この「音姫」は生徒の評価も高く、改修後に行ったアンケート（気に入った設備）では「雰囲気」「明るい照明」に続き、3位にあげられたほどだ。また、学校見学に訪れる受験生や保護者の方々にも好評で、受験者数の増加に貢献するのでは、と期待されている。

もともと特色豊かな向上学園だが、学校生活の基本を支える設備も学校の立派な特徴になり得ることを証明した好例だ。

## ●改修前



## ●改修後



1. 幅広いボウルでしっかり洗え、水はねも少ない洗面器を採用。スポーツ後の洗顔にも便利。  
2. 入り口付近に設置された鏡。改修後に行った生徒向けアンケートで「用足し以外のトイレでの行動」をたずねると、64%の生徒が「身だしなみ」と回答。3. ウォシュレット、音姫付きの洋式便器。棚付きの二連紙巻器はポーチ等が置いて便利。4. 改修前には2つしかなかった洋式便器がなんと7つに。

### 【向上高等学校】

- 竣工年月／2010年8月
- 所在地／神奈川県伊勢原市見附島411
- 生徒数／男子920名、女子629名
- 施主／学校法人 向上学園
- 設計監理／株式会社 竹中工務店
- 施工／株式会社 竹中工務店
- 敷地面積／29,584㎡
- 延床面積／18,209㎡



# 高等学校と同じように、 小中学校もトイレで困っている。

アンケート調査から見える

## 高校トイレの 現状と未来

2010年度  
学校のトイレ研究会実施  
【全国高校トイレ実態調査】

調査概要

- 対象／①全国の公立高等学校3,801校  
②全国の私立中高一貫高等学校645校
- 回答数／①621校(回答率16.3%)  
②45校(回答率7.0%)
- 調査方法／校長先生宛への  
郵送によるアンケート調査
- 調査時期／2010年7月20日～8月20日  
(n数は学校数)

現在の高校のトイレは  
高校生に相応しい  
トイレなのか？

学校のトイレ研究会はこれまで主に小中学校のトイレ環境に注目してきたが、今回は高校のトイレにフォーカスし、全国の公立高校、および私立中高一貫高校に対し、「全国高校トイレ実態調査」を実施した。

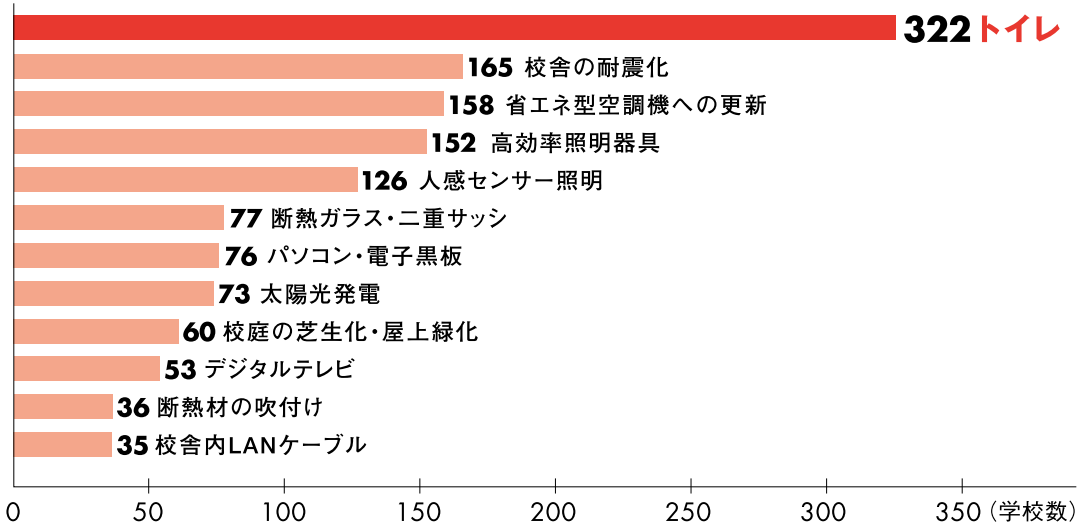
高校は小中学校に比べ、トイレ環境は整備されているのではと、漠然とした予想のもとにスタートした調査だが、予想は大きく裏切られた。

調査結果からは小中学校と同じように、トイレの5K(臭い、暗い、汚い、怖い、壊れている)に苦しむ高校トイレの実態が浮かび上がった。

### 公立高校では トイレの改善を望む声が圧倒的。

Q.学校で生徒のために改善が必要な場所はどこですか？(複数回答) n=621

●公立高校

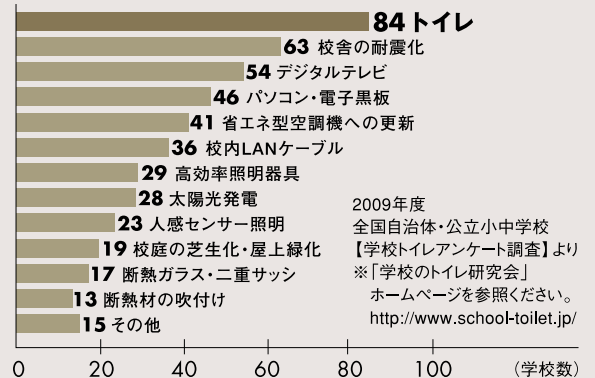


まず、研究会では予断を交えず、学校の施設で改善が必要な場所をたずねてみることにした。その結果、公立高校のアンケートでは2位の「校舎の耐震化」を大きく引き離し「トイレ」がトップに。参考までに昨年実施した公立小中学校向けのアンケート結果も同載したが、1位と2位は高校と同じ順位だ。トイレ改善を望む声は高校のほうが大きいことがわかる。

高校のトイレ環境はどうなっているのか？

今、何が起きているのか？あるいは何も起きていないのか？ データから高校トイレの現状を見ていこう。

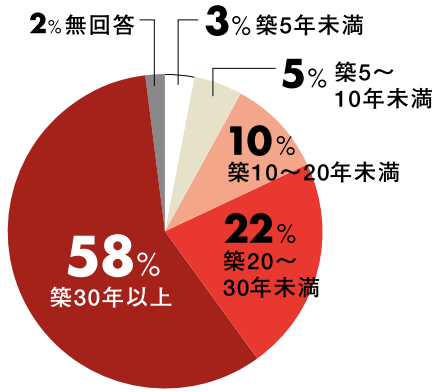
《参考》●公立小中学校 n=164



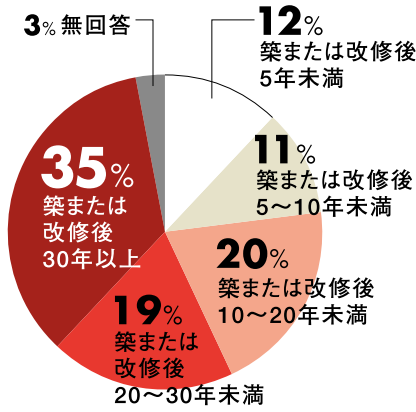
2009年度  
全国自治体・公立小中学校  
【学校トイレアンケート調査】より  
※「学校のトイレ研究会」  
ホームページを参照ください。  
<http://www.school-toilet.jp/>

●公立高校

Q.学校の築年数は何年ですか? n=621

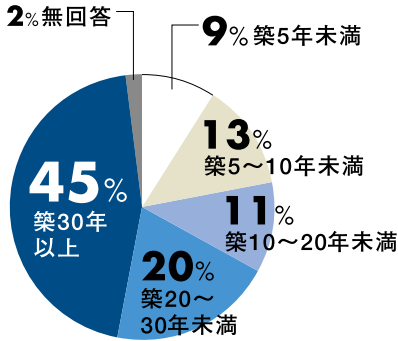


Q.トイレの築年数は何年ですか? n=621

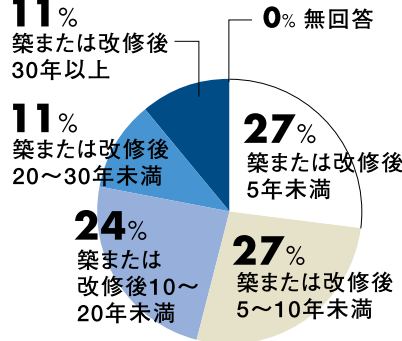


●私立中高一貫

Q.学校の築年数は何年ですか? n=45



Q.トイレの築年数は何年ですか? n=45



## 公立高校で進むトイレの老朽化。

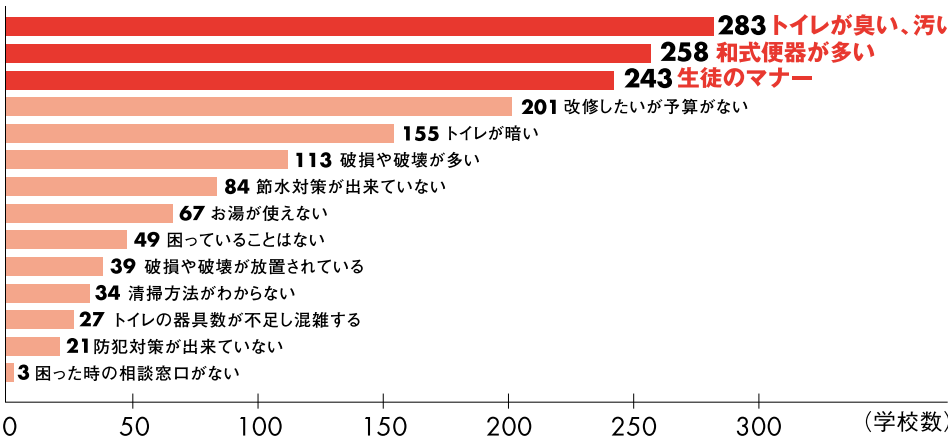
トイレ環境の悪化は第一に古さがあげられる。いかに丁寧な維持管理を行ったとしても老朽化に抗うのは難しい。公立高校の場合、上のグラフのように校舎自体が築30年以上の学校が60%近く、築20年以上となると80%に達する。それでもトイレについては単独の改修などで対応するケースがあるようだが、やはりトイレも同様に20年を超えて使用されるケースが過半数を占める。

一方、私立中高一貫高校では築30年以上の校舎は45%と少なくないが、トイレに限っては積極的に改修を行っている姿が見とれる。

いくつかの私立高校の取材のなかで、保護者や受験生の「トイレを見る目は厳しい」という話をよく耳にしたが、経営視点からもトイレの環境整備はおろそかにできない。

Q.トイレで困っていることは何ですか? (複数回答) n=621

●公立高校



## トイレの困りごとは臭い、汚い、和式中心、そして生徒のマナー。

トイレの問題点をたずねてみると、これまでの研究誌でレポートしてきた小中学校と同様に「臭い、汚い」がトップに。

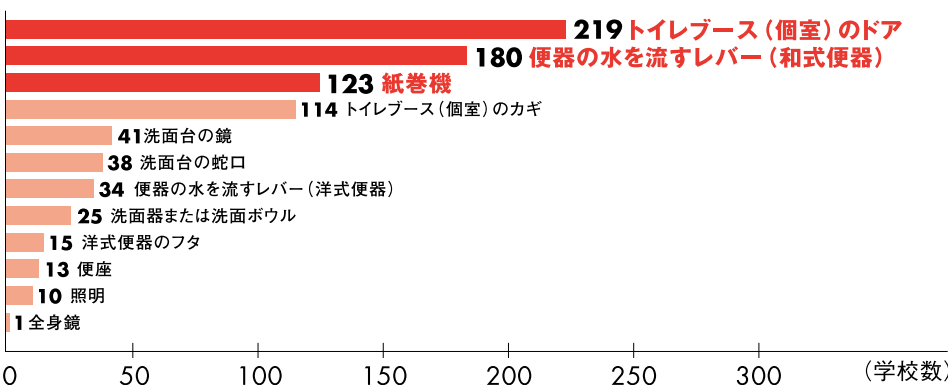
トイレがにおったり、汚れが解消されない大きな理由は老朽化と考えられるが、和式便器の多さも見逃せない。

また、公立高校の調査で特徴的だったのは「生徒のマナー」が3位にランクインしていること。年齢が大人に近いため学校職員の期待のあらわれがあるかもしれないが、マナーを含めた維持管理を考えることも重要。

トイレ内で破損の頻度が多い場所の設問に関しても、小中学校と同じ傾向だ。トイレ設備の破損は経年劣化によるものと、和式レバーを足で操作するなど、誤った使用方法によるものが考えられる。

Q.トイレ内で破損の頻度が多い場所は? (複数回答) n=621

●公立高校





# 高校トイレの未来。

## 高校生のためのトイレはどうあるべきか？

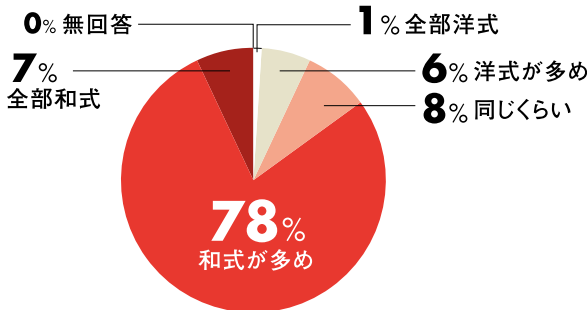
### 現状の高校トイレは和式が主体。

前述のように公立高校では築20年以上の学校が80%に達することから、和式便器が多数を占めるのはうなずける。

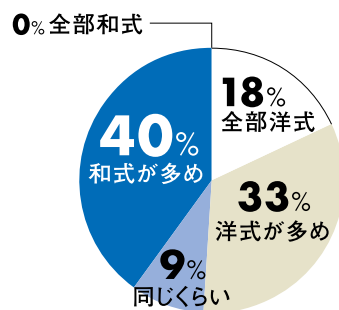
校舎は古くともトイレ改修に積極的な私立中高一貫高校の和式・洋式の比率を見てみると、

すべて洋式を採用している学校が18%。「洋式が多め」の学校を加えると過半数を超えることから、改修にあたっては洋式主体にシフトしていることがわかる。

#### Q.和式・洋式の比率はどれくらいですか？



●公立高校 n=621



●私立中高一貫高校 n=45

### トイレ改修をするなら、洋式を望む声が多い。

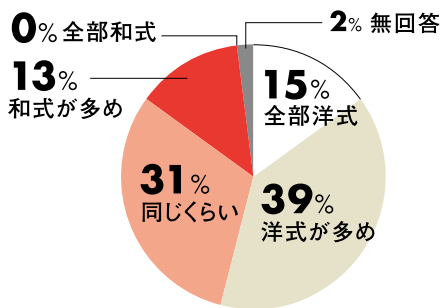
トイレを新しくする場合、和式・洋式比率は常に議論の対象となるが、高校を管理運営する立場からは和洋同数か洋式を多めにするもの、和式も残す、という意見が中心のようだ。

参考までに高校生に同じ質問をぶつけた場合、80%が洋式を望んでいることがわかった。本誌

の取材活動のなかでも、現役高校生や教職員のみなさんに、便器の使用状況をたずねてみたが、和式を使用する生徒はごく少数だった。

生徒の多様な生活スタイルに配慮し、和式を残しても、現実には使用されないブースを作ってしまうことも考えられる。

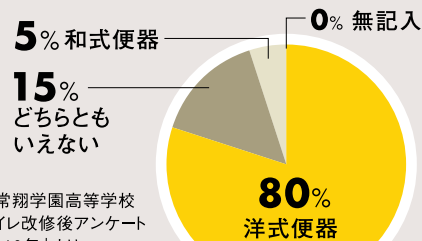
#### Q.トイレを改修するとしたら洋式or和式？



●公立高校 n=621

#### 生徒は洋式を望んでいる。 n=171

#### Q.和式便器と洋式便器、どちらが好きですか？

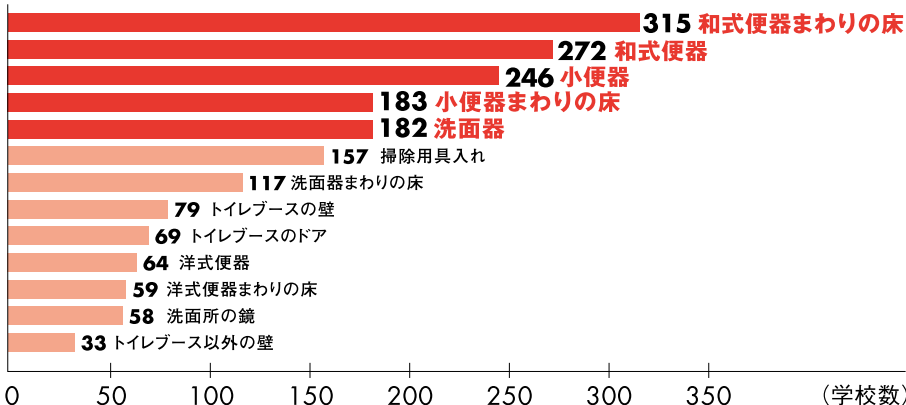


「常翔学園高等学校  
トイレ改修後アンケート  
2010年」より  
対象:高校2年生171名  
(男子104名 女子67名)

### トイレで汚れやすいのは和式便器と小便器。

#### Q.トイレで汚れがひどい場所はどこですか？ n=621

##### ●公立高校



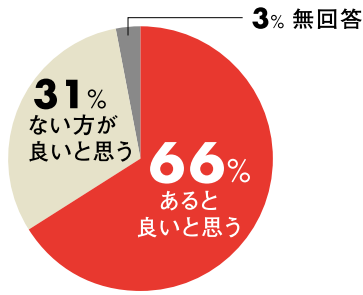
トイレで汚れやすい場所のトップ3は「和式便器まわりの床」「和式便器」そして「小便器」。小中学校の調査でも同じ傾向がみられ、学校のトイレを快適な状態に維持管理する上でこの3カ所は重要なポイントとなる。

ここ数年、「全洋式化」に舵を切る自治体、学校が徐々に増えつつあるのもこういった事情と無関係ではないだろう。

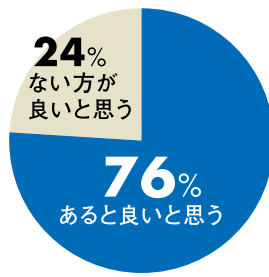
また、小中学校と違う特記すべき点は、「洗面器」の汚れが公立高校では5位にランクインしていること。手洗いだけではなく、高校生の多様な使い方がうかがわれる。

## Q.温水洗浄便座「ウォシュレット」があると良いと思いますか？

※洋式便器があると仮定した場合



●公立高校 n=621



●私立中高一貫高校 n=45

## 温水洗浄便座の要望は高い。

高校ではトイレ改修や新築の際、ウォシュレットを設備に加える学校が増えている。

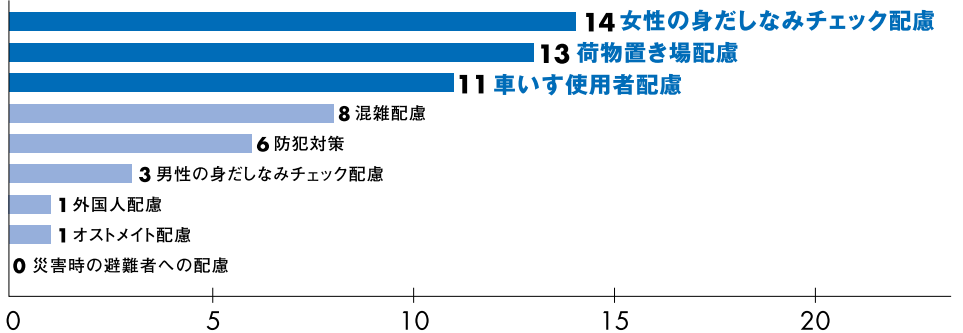
家庭のトイレでウォシュレットは一般化していること、便座も温かく、女生徒に人気の擬音装置（音姫）も付いていて、一挙両得なのが理由と考えられる。

## 理想のトイレは生徒の成長を促す。

「明るく、清潔なトイレ」という基本的な要求は、どの学校でも一致するところだが、生徒の身だしなみを気にする点はいかにも高校らしく、姿見を望む高校が多い。また、教室の移動が増える高校では「荷物置き場」も当たり前の設備になっていくのかもしれない。

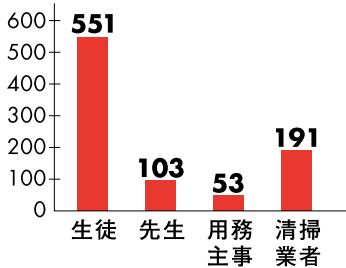
## Q.トイレ計画の際の具体的な配慮ポイントは？ n=45

●私立中高一貫高校

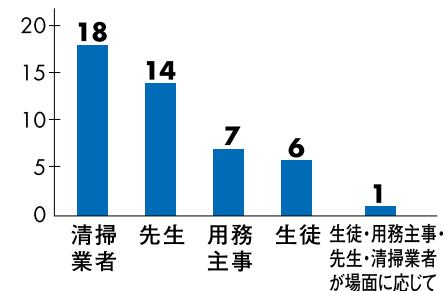


## Q.清掃は誰がやっていますか？

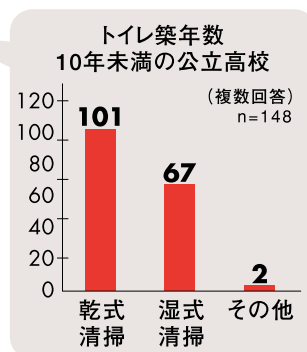
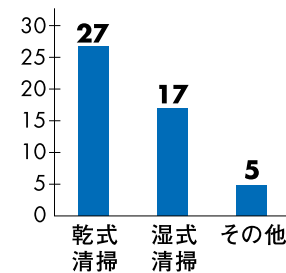
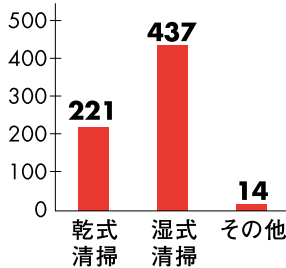
●公立高校 (複数回答) n=621



●私立中高一貫高校 (複数回答) n=45



## Q.清掃方法は？



## 進む乾式清掃化。

新しいトイレを作る場合、清掃方式も重要な観点だ。従来、学校トイレの標準となっていた湿式清掃は床面が濡れた状態で放置され、菌の繁殖に最適な環境になってしまうことから、衛生の観点から次第に乾式清掃を選択する学校が増加している。私立はすでに乾式優勢。公立も築10年未満のトイレでは、乾式清掃化が進んでいる。

## アンケート結果より

高校のトイレは大人と同じように、満足度の高いトイレが必要な時代に

学校とトイレの関係を考えるとき、教育機関で必要以上の設備は贅沢だ、という意見は根強い。もちろん分不相応に華美なトイレは不要かもしれないが、30年前の標準的な仕様が今も通用するわけではない。

昨今、小中学校のトイレは、きれいに整備されつつある。そのような、きれいなトイレで育った生徒は、今の高校トイレで大丈夫だろうか？ 住宅同様にウォシュレット普及率の高くなったオフィスや商業施設。高校生は大人と同様、きれいなパブリックトイレに慣れていて、生徒に和式便器や冷たい便座を強いてはいないだろうか。

大人の仲間入りをする直前の世代、高校生にとってふさわしいトイレとはどういうものなのか？ 学校生活を健やかに送るためのトイレはどうあるべきかを真剣に議論する必要がある。



# トイレで何をしてる？ トイレに何が欲しい？ 高校生が求める トイレ空間

学校のトイレ研究会が全国の高校に向けて実施したアンケートの結果、小学校・中学校以上に劣悪な高校のトイレ環境の実態が浮かびあがってきた。特に公立高校では、「臭い、汚い、キケン」の旧態依然としたトイレが多いようだ。そこで、男女14名の現役高校生に集ってもらい、高校トイレの現状と要望について話し合ってもらった。

【座談会参加者内訳】

♣️男子6名（公立2名、私立4名）♥️女子8名（全員公立）

## 洋式トイレを探し求めて……。

★高校のトイレの様子を教えてください。

♥️「洋式が1つしかなくて、いつも取り合いです。時間がなくてあきらめることも」

♥️「洋式は1階のトイレに1つあるだけ。お腹が痛いときなんかは洋式を使いたいため不便です」

♥️「和式ばかりで8個くらいあっても、**使えるのは3個**

くらい」

♣️「うちは**小便器の横にパーテーション**がついているのがいいと思います」

♣️「のぞく人いる？」

♣️「横を防いでも後ろからのぞかれるかも（笑）」

♣️「うちは個室のドアがひん曲がっていて、2人がかりで開閉するトイレがある（笑）」

♣️「うちは1つだけ洋式で、し



かもウォッシュレット！ そのブーが人気」

★男子で個室に入るのは、友だちにからかわれたりしませんか？

♣️「それは中学生まで。高校ではひやかされることはないですね」

♣️「えー、『大』は上からのぞかれますよ！（笑）」

♣️「僕は学校のトイレは汚いからできない。どうしても時は、昼休みに**コンビニ**に行きます」

★洋式と和式ではどちらがいいですか？

♥️「洋式に慣れてるので、もっと増やしてほしいですね」（1人を除いて全員賛同）

♥️「洋式は便座が冷たくなければ、いいんですけど」

♣️「僕は洋式が空いていたら絶対、洋式だな」（男子全員賛同）

## トイレが変わると 学校も変わる？

★トイレ掃除は誰がやってますか？

♥️「うちは掃除をするクラスが決まっています」

♥️「業者さんがやってくれていますが、もとが汚いのできれいにならない」（5名賛同）

♣️「生徒がやっていますけれど、掃除の後は**床がびしょびしょ**になるので入りたくない」

★湿式清掃ですね。乾式清掃の学校はありますか？

♣️「うちも生徒がやっています。水は使っていないので乾式です」

♣️「**気にしたことがないの**

でわかりません」（男女とも2〜3名）

★学校トイレがきれいになると勉強に影響が出ると思えますか？

♣️「きれいになると、そこに人が集まって**人間関係**が良くなると思います」

♣️「学校の自慢になりますね。でも勉強はわからない（笑）」

♣️「**テンション**が上がるかも」

♣️「トイレにこもってしまうのでは？（笑）」

♥️「トイレが嫌だからといって、学校自体が嫌になることはないけど、**トイレがきれいだと学校がちよっと楽しくなる**かもしれません」



## 利用は男子2〜3回、女子3〜4回。

## トイレは更衣室だった!?

★みなさん1日に何回くらい学校のトイレを利用していますか？

♠「だいたい2〜3回ってところですかね」（男子全員うなずく）

♥「3〜4回かな。とりあえず、トイレに行く」

♥「トイレの方が話しやすいこともあるし」

♠「男子も最近では、集団で行くこともある」

♥「わたしは学校ではトイレに行きません！ 暗いし、汚いし、古いから。がまんできますよ。みんな寄り付かない（笑）。きれいだったら違うと思うけど」

♥「たいへんだね。わたしは5回くらい行くよ」

★みなさんトイレに行く回数が多いのですが、何をしていますのでしょうか？

♥「歯みがきや顔のチェック」

♥「化粧直し」

♠「顔は見に行きますね。鏡がトイレにしかないから」（男子4名、同意見）

♠「トイレ以外の場所にも鏡が



欲しい」

♥「それと**着替え**をしています」（男子1名、女子7名同意見）

★更衣室は使わないんですか？

♥「更衣室が遠くて。体育や部活の前に**床に荷物を置いて**着替えます。だから、床がきれいだとうれしいんですけど」

♥「あと、**着替え用の荷物**かけも欲しい！」

♠「いつもかばんを廊下に置いておくから、荷物置きがあるといいですね」



## 贅沢は不要。でも清潔さは欲しい！

★（今号で紹介している）私立高校のトイレ写真を見てもらいましたが、いかがですか？

♥「全然、私立は違いますね〜」

♠「ウォシュレットまではいらないけれど」

♠「いや、僕は紙だけで拭くのはいやだ（笑）」

♥「ウォシュレットは贅沢だけど、（使用音を隠せる）音姫は欲しいかも。節水になるし、エコだし！」

♥「贅沢」（全員うなずく）

♥「あと全身鏡はほしいですね」

♥「お湯が出るとうれしいけど、それは贅沢？」

♥「できればコンセントもほしい。部活のあとにドライヤー使いたいから」

♥「それは贅沢〜（笑）。お金をかけ過ぎたらもったいない。明るくてきれいで、においがなければ！ だめならせめて消臭剤が欲しいです（笑）」



## 座談会を終えて 高校生たちが望むのは ごく当たり前の 清潔なトイレ

座談会では、私立高校並みの贅沢な設備はなくても、必要最低限の清潔さはほしいという声が続く返り登場した。また、意外にも更衣室がわりに使われていることも少なくないことから、床は乾いた状態が望ましいということもわかる。洋式の便器を採用し、乾式の床材にすれば、清掃もラクになり、清潔さも向上する。生徒たちは「贅沢は言っちゃいけないよね」と言い合っている。便器や床に対する思いを口に出している。家庭のトイレ環境が向上した今、それは決して贅沢な望みとはいえないのではないだろうか。





# 大阪府和泉市の挑戦

耐震補強工事に  
合わせて  
トイレ改修

## 学校トイレの理想は 子どもたち全員が 快適なトイレ

学校のトイレが汚いと家まで我慢する子がいる。  
大人だってそうだ。ビルや駅のトイレが嫌で自宅まで我慢することもある。  
やっぱり誰でも、自宅のトイレが一番落ち着く。  
学校のトイレは学校のトイレらしくって、誰が決めたのだろうか。  
別にいいんじゃないだろうか。快適な家のトイレを見習ったって。

学校のトイレを改修したり新しく作る場合、必ず議論になるのが「洋式便器と和式便器をどんな比率にするか」あるいは、「ウォシュレットや擬音装置は必要か」といったテーマだ。

学校のトイレ研究会は新築の学校やトイレ改修を行った学校を訪れることが多いが、おおまかな傾向では和式便器の残存は限りなくゼロに近づき、徐々にウォシュレットや擬音装置を設置する学校が増えてきている。大きな流れとしては「洋式便器化」「ウォシュレット標準化」の方向に進んでいるようだ。

こういった状況の中、子ども本位のトイレプランを進める自治体がある。大阪府のベッドタウンとして発展著しい和泉市では31の小中学校で大規模改修工事や耐震補強工事に合わせ、平成11年ごろからトイレ改修を進めてきた。合言葉は「家庭並みの快適なトイレ」。一番落ち着くのが家庭のトイレならば、家庭のトイレを参考にすれば、快適なトイレが実現するという、シンプルな発想だ。

洋式、和式。ウォシュレット必要、不要。音姫必要、不要。和泉市はさまざま子どもたちのニーズに合わせた設備構成で、気持ちよく通える学校作りを目指している。

### 和泉市立 光明台中学校



- ① 1978年
- ② 2010年9月
- ③ 511人



### 「地震防災対策特別措置法」による 国庫補助率の嵩上げが 平成28年3月31日までの5年延長

(Is値0.3未満の補強工事の場合、国庫補助率3分の2)

耐震化に合わせた関連整備も  
国庫補助の対象になります

### 耐震化の実施にあわせた 関連整備の推進

学校施設の耐震対策にあわせ、天井材落下やガラス飛散の防止対策、防災機能の強化、バリアフリー化、エコ改修、アスベスト対策などを推進

耐震  
対策



地震による被害状況

### 耐震化の実施にあわせた関連整備の例

バリア  
フリー化



玄関スロープ

身障者用トイレ

※文部科学省ホームページより抜粋



## 和泉市立 南松尾小学校



- ① 1979 年
- ② 2010 年 9 月
- ③ 133 人

## 和泉市立 黒鳥小学校



- ① 1970 年
- ② 2010 年 11 月
- ③ 486 人

## 和泉市立 郷荘中学校



- ① 1973 年
- ② 2010 年 9 月
- ③ 787 人

①校舎竣工年 ②トイレ改修を行った耐震補強工事時期 ③児童・生徒数(2011年3月末現在)

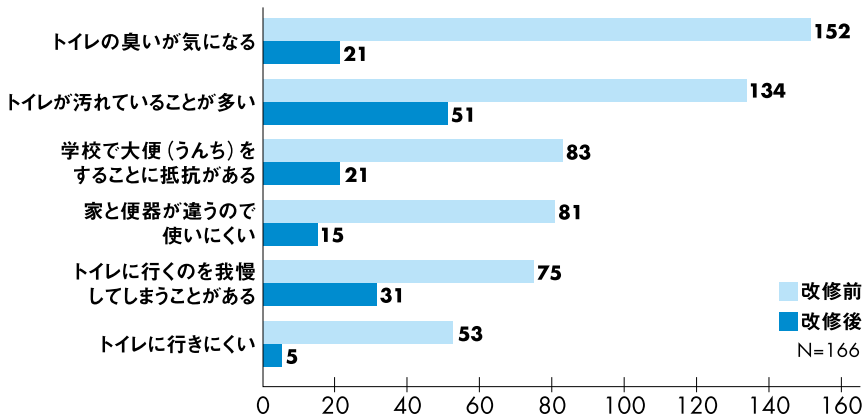
# 伯太小学校の トイレ改修前後 アンケートから 見えてくるもの



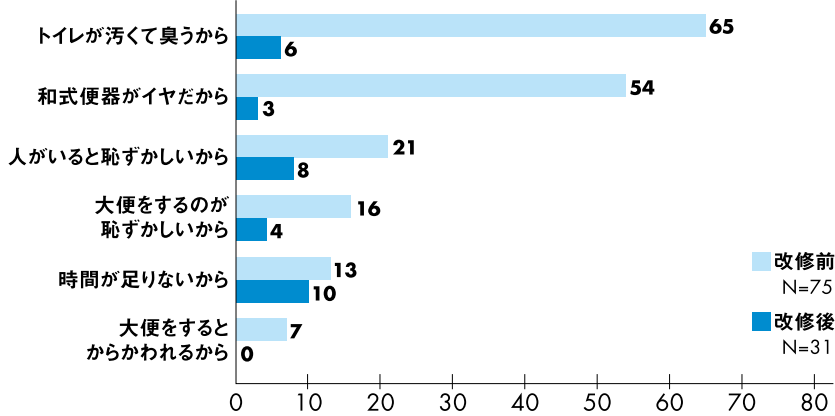
● 伯太小学校  
改修前のトイレ

## 伯太小学校5、6年生のみなさんに 昔のトイレと新しいトイレを比較してもらいました。

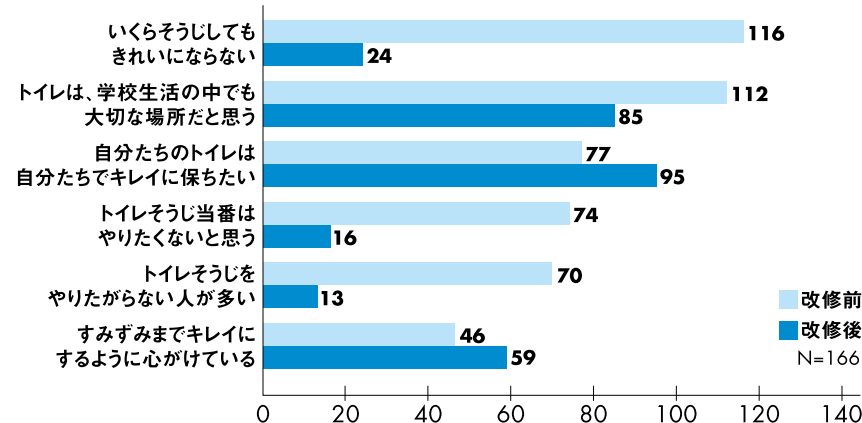
### Q1. 伯太小学校のトイレについて、あなたが普段、感じていることは？



### Q2. Q1で「トイレに行くのを我慢してしまうことがある」と答えた児童に聞きました。



### Q3. トイレの掃除について、どう感じていますか？



トイレ改修によって、子どもたちの学校トイレに対する気持ちはどう変わるのだろうか。

前ページで紹介した4つの学校と同様、「家庭並みの快適なトイレ」を目指して、和泉市立伯太小学校も昨年夏、耐震補強工事とともに、トイレ改修を行った。真新しいトイレは洋式便器

を中心に構成され、男女ともに和式便器は1台ずつ。洋式便器の過半数はウォシュレットと擬音装置(音姫)が備えられている。西川伸也教頭先生は和泉市内の学校トイレ改修を当然の流れと受け止めている。

「私たちのようにずっと学校で仕事をしていますと、昔ながらの汚いトイレでも『学校のトイレはこんなもの』と思いついてしまっています。たとえば学校ではほうきで掃除をしますが、家庭でほうきを使う家がどれだけありますか？ 家庭のトイレの

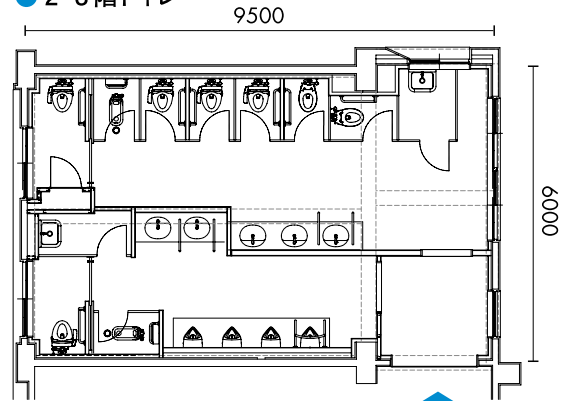
に合わせて、学校のトイレも変わっていくの当たり前なんです」自宅のトイレのように快適になったためか、伯太小の子どもたちに行ったアンケートでは、トイレに対するネガティブな回答はぐんと減っている。

和泉市立伯太小学校トイレ改修前後アンケート調査 2010年7月(改修前)、2010年11月(改修後)実施  
対象：5、6年生166名(男子82名、女子84名)



1. 男子トイレの入口付近にはランドセルも置ける荷物置きが。
2. 通常は男子と女子のシンボルカラーを「青」「赤」と分けることが多いが、伯太小は男女共通でフロアごとに「青トイレ」「赤トイレ」「黄トイレ」に分類されている。
3. 改修前のトイレに比べ、ブーススペースを広く取った。
4. 整然と並べられた掃除道具類。
5. 女子トイレの和式便器ブースには手すりと擬音装置（音姫）を設置。
6. 和泉市の小中学校では洋式便器の過半数に擬音装置（音姫）付きのウォシュレットを設置。

● 2・3階トイレ



- ① 1棟／1967年 16棟／1974年
- ② 2010年11月
- ③ 504人

「子どもにとって  
もっとも快適な  
トイレは  
家庭のトイレ」

和泉市教育委員会総務課  
平野公教氏

誰にとっても快適で落ち着くトイレというと、やはり自宅のトイレだと思うんです。でも、自宅のトイレということになると子どもの数だけありますから、完全に同じものにはなりません。でも、それぞれの児童が馴れているものを用意してあげることができません。

たとえば自宅は洋式便器だけど、学校では便座に座りたくない子。ウォシュレットじゃないとトイレを使えない子。逆に他人が使ったウォシュレットは嫌な子。いろんな子がいるわけです。ですから和泉市のトイレ改修では、家庭のトイレは洋式化が進んでいるので大半の便器は洋式に替えますが、1つは和式にします。ウォシュレットは過半数の便器に設置し、女子は擬音装置付きです。これなら、どの子もどこかのブースは気持ちよく使うことができるはずです。子どもたちが気持ちよく学校生活を送れる設備計画をこれからも考えていくつもりです。



小中学校  
学校トイレ事例集

# 快適な 学校トイレ への挑戦



千葉県横芝光町立  
横芝中学校

町中の思いが  
集まって生まれた  
美しいトイレを  
「無言清掃」で守る。

町中みんなの意見で  
誕生した新生・横芝中

「みんなで作ろう、新しい横中！」を合言葉に生まれ変わった千葉県の横芝中学校。約2年の準備期間に教職員、PTAの方々是他校の見学やワークショップを通して新しい学校の姿を話し合った。生徒たちはアンケートを通して希望を語り、入学予定の小学生たちは絵画でめいめいの中学校像を表現したという。

1960年から横芝の地で地元の人々に愛されてきた中学校はそんな経緯を経て、2009年に移転。新生・横芝中学校が誕生した。

「木の温もり大切にしたい」と設計を担当した豊建築事務所の大澤信之氏が言うように、教室や廊下の床は木のフロアリング。トイレの壁面やホールなどのコミュニケーションエリアも木調に仕上げられ、豊かな採光との相乗効果で、温かみのある空間に仕上がっている。

もちろん新しいトイレにも、中学生が明るく学校生活を送れるような工夫が随所に施されている。新築ならではの広い空間を利用したアイランドタイプの洗面台は使用時に生徒が向かい合うことも多く、自然にコミュニケーションも生まれる。また、

## 【横芝中学校】

- 竣工年月/2009年2月
- 所在地/千葉県山武郡横芝光町坂田池3-1
- 児童生徒数/男子206名、女子197名
- 施主/千葉県横芝光町
- 設計監理/株式会社 豊建築事務所
- 施工/古谷・青柳建設株式会社  
特定建設工事共同企業体
- 敷地面積/38,709㎡
- 建築面積/5,683㎡
- 延床面積/10,416㎡
- 構造規模/RC造一部鉄骨造  
地上3階

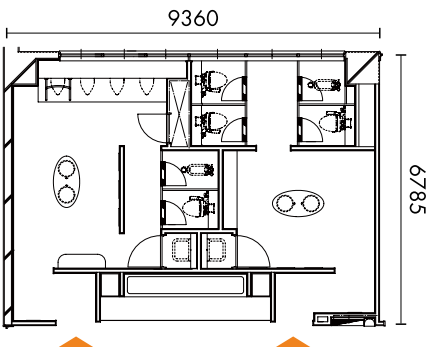


図書館に備えられたイームズのチェア。早くから本物に触れることで、豊かな心を育てほしい、との願いが込められた。





1. 生徒たちの活発なコミュニケーションを生む、アイランド型の洗面台。ベンチも備えられた。
- 2.3. 男女トイレともに、清掃がしやすい壁掛けタイプの洋式便器を採用。すべての洋式便器にウォシュレットが備えられた。女子トイレには生徒たちの要望がもっとも高かった擬音装置（音姫）も。
4. 教室や廊下は温かみのあるフローリング。
5. 大便ブースへの入り口にさを和らげるパーテーションを大便器ブース前に設置。女子と同様、身だしなみへの配慮から、写真の鏡のほか、入口付近には姿見も設置された。
6. トイレ付近には「そうじ3原則」と題した清掃の心得が貼られている。



「つまり授業と同じ心構えで真剣に打ち込むということですね。トイレは汚く触れたくないものというイメージがありますが、『そういう場所だからこそきれいにしたい』という考えが生まれることで、子どもたちの気持ちも穏やかに豊かなのに育っていくんじゃないでしょうか」

押尾良晴校長の力強い言葉には生徒に対する思いと、学校建設に尽力した町の人々に対する感謝にあふれていた。

おしゃべりを封印して、清掃に集中する生徒たちの心にもきっと、校長先生の思いは伝わっていることだろう。

生徒たちに行われた事前アンケートで希望者ナンバー1だった擬音装置（音姫）を女子トイレにウォシュレットとともに設置。男子トイレは大便ブースの前にパーテーションを施し、少しでもブースが使いやすいよう工夫された。

**無言で集中する清掃が  
生徒の心を豊かに育てる**

美しいトイレができると次に大切なのが維持管理だが、昨年、先生たちは「無言清掃」というアイデアを打ち出した。放課後生徒全員で行う15分間の清掃時間中、私語厳禁で掃除に取り組むというものだ。



特別支援クラスの教室にはトイレのほか、シャワーブースも備えられている。養護担当の教職員からは要望の高い設備だ。



多機能トイレは全部で5カ所に設置された。災害時を意識して、講堂（アリーナ）脇のトイレはオストメイト対応器具、汚物流しまで備えたフルスペック仕様。



# 福井県あわら市立芦原中学校

## 心地よさを実現。 安心した学校生活のため、 より落ち着いたトイレ空間を演出。

芦原中学校は、築40年となる校舎の耐震化工事とともに生徒やPTAが待ち望んでいたトイレ改修を含めた大規模改修を行った。トイレ完成後、木下賀之建築設計事務所の梶常務取締役は、生徒が初めてトイレを使った時はとても驚いたでしょう、と語る。

「心地よさ」を表現したトイレは、訪問してみると、木目の香りと落ち着いた色調から安心感がほのほの伝わってくる。中学校のトイレもここまで進化するという驚きと実感があるが、設備は至ってシンプルでエコ視点



でもとても工夫されている。

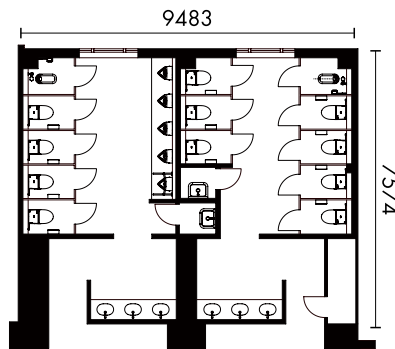
梶氏には「心地よさ」を実現させるための具体的なファクターをあげていただいた。

- ① きれい／② 素敵／③ 優しい
- ④ 安心感／⑤ 省エネ／⑥ 集える
- ①～⑤までの実現が⑥につながるっていくという。トイレも含めた学校全体の環境向上は、このように実現されるのだ。

きれいを表現するために清掃方式は湿式から乾式に切り替えを行った。それから、中学生と小学生とを考えた。小学校とは違った大人に近づけた落ち着いた空間演出。男女トイレの入り口を離したり、防音対策をとるなど、細やかな配慮を施した。また、トイレ内の人感センサーの照明は最小限に抑え、空間全体を照らせるよう工夫が凝らされている。仲間という時の暖かさや温もりは、新しい時代にふさわしく豊かで安心した学校生活を送ってもらいたいというメッセージにつながっている。



- 【芦原中学校】
- 竣工年月/2011年3月
  - 所在地/福井県あわら市舟津 2-75
  - 生徒数/男子190名、女子165名
  - 施主/福井県あわら市
  - 設計/  
株式会社 木下賀之建築設計事務所
  - 設備/有限会社 環境システム設計
  - 敷地面積:43,886㎡
  - 延床面積:8,842㎡
  - 構造規模:RC造一部S造 地上3階



1. 階段スペースはガラス貼りで外光が降り注ぐ。右手に見えるのは、照明の落ち着いた手洗い場。生徒は、冬期校舎内をランニングしている。
- 2.3. 木のぬくもりを感じさせるトイレ入り口。
4. 小便器は、自動洗浄小便器を採用。便器に近づきやすいよう足元にも工夫。
5. 1ブースのみ和式便器を残したが、洗浄レバーが壊されやすいため、ノンタッチの自動洗浄にした。
6. 落ち着いた照明の3連の洗面カウンター。水栓はもちろん自動。生徒が集えるよう配慮。
7. 4.8Lで洗浄できる節水型のウォシュレット一体形便器 GGの採用で生徒に家庭的な使用感を。





# 京都府精華町立川西小学校

## 汚れにくい床素材で 乾式トイレの汚染対策。 今後は清掃方法やマナーの改善を。



1.2. 精華町では初めて洋式化と乾式化を実施。自主デザインも取り入れて児童の興味が高いトイレに変化した。

3.4. 大きな鏡や床への水跳ね汚れが目立つことなど、改修後も課題は残る。今後は清掃方法の工夫や児童のマナーの向上により、より美しいトイレとなることが期待される。

川西小学校では、2009年に行った学校校舎改築工事にともない、すべてのトイレについて洋式便器の数を増やし、床については衛生面に配慮して乾式清掃を行った。精華町では初めて洋式化と乾式清掃を行った小学校であり、自主デザインも取り入れて児童の興味が高いトイレに変化した。

今回の洋式化、乾式化したトイレについて従来のトイレと比べて良くなった点を3つあげるとすれば①明るくなった、②入りやすくなった、③臭いがしなくなったことだという。

「川西小学校は伝統的に掃除をがんばる児童が多く、物を大事に美しくする気持ちは根付いている」と関口教頭先生。

トイレの清掃は毎日15分程度をかけて5年生と6年生の児童が便器、手洗い場、床の清掃を行い、学期末には全職員が便座の裏など、隅々までチェックして掃除を行い、最後の掃除をおこなって児童が気持ちよく新学期を迎えられるようにしている。

トイレの中で汚れやすい場所のひとつに「便器回りの床」があるが、「今回の洋式化によって床に便がこぼれて汚れることはほとんどなくなった」と養護教諭の岡本先生。

トイレの床には「超防汚性ビニル床シート」が施工され、汚れが付きにくくて取れやすく、抗菌性も備えた床となっており、洋式化、乾式清掃化と合わせて床の素材面からも汚れと臭い対策がとられている。改修前の床タイルと比べてビニル床シートは目地がないこともあり、「掃除がしやすくなり、児童が抵抗なく掃除ができるようになった」（岡本先生）

このように対策されたトイレでもまだ以下のような課題が残っている。

「まずはスポンジモップで床を水拭きした後、床表面がすぐに乾かず児童の足跡が目立つことが気になる」（岡本先生）

特に寒い時期はスポンジモップをよく絞って清掃を行うことが必要であろう。また手洗い場の大きな鏡や床への水跳ね汚れが目立つこと、トイレが入りやすくなった反面、遊び場になること、パニック時の清掃方法が難しいこと、などがあげられた。トイレの洋式化、乾式清掃化、そして建材の素材面での対策も進む中で、今後は清掃方法の工夫や生徒のマナーの向上が、より美しく清潔なトイレを作っていくことになるだろうと考えられる。

# 学校のトイレ研究会とは？

明るさ、使いやすさ、安全性、堅牢性に優れたトイレブース

## 「ウェイブレット」

学校用トイレブース「ウェイブレット」は、弧を描くように移動しながら開閉する上吊り型のドアです。開閉の際、ブース内で体を移動する必要がなく簡単に開閉できます。省スペース設計で、和式から洋式に変更する際、内開き方式ではドアが便器に接触してしまつたため、外開きにしなければならぬような広さでも、ドアがスライドするので同じブースサイズで洋式に変えられます。

学校以外にも、オフィス・店舗・病院など様々な施設で利用されています。



よい品は結局おトクです  
**オカムラ**

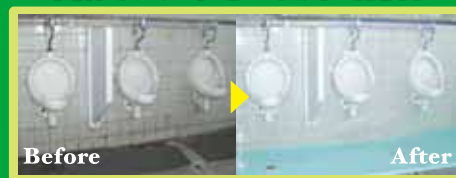
株式会社 岡村製作所  
〒107-0052  
東京都港区赤坂2-14-27  
国際新赤坂ビル東館  
Tel:03-6743-4510  
<http://www.okamura.co.jp/>

今あるものをそのまま活かす  
エコメンテナンス

## 「トイレが蘇る工法」

### トイレの「キレイ」を創る会社

根本的なクリーニング&メンテナンスで  
学校トイレの“今”と“これから”を変える



臭い・汚れを原因から改善

施工後の清掃  
研修まで可能

今を活かした  
エコ改修

弊社は日常生活に不可欠なトイレというものを、使う人の身になって何を提供できるかを考え方の原点としております。

また、メンテナンス作業や、学校関係者との実技研修を通して、メンテナンスアドバイザーを行っております。

様々な制約の中でも、学校のトイレを変えたいというニーズを実現する工法です。

こだわりのトイレ環境を創出する  
株式会社 木村徳太郎商店

〒112-0004  
東京都文京区後楽  
二丁目5番1号  
Tel:03-3811-2919  
Fax:03-3811-2787  
<http://www.toku-kimura.co.jp/>

PBボードやケイカル板  
下地に「貼る」化粧材。  
役物にも施工できます。

## 化粧フィルム『ベルビアン』

ベルビアンは水廻りに強い、現場施工用の粘着剤付き化粧フィルムです。プラスチックボード、ケイカル板、低圧メラミン化粧板など、様々な種類の平滑な下地に直接施工ができます。薄いフィルムですので、内装制限のかららない部位なら、傷がついても重ね貼りリフォームができます。

400種類以上のカラーバリエーションと、扉一枚分でも対応できるデリバリー体制、清潔でスピーディーな施工で、トイレ空間のリフォームに最適な仕上げ材です。



〈製造元〉  
シーアイ化成株式会社

〈販売元・お問い合わせ〉  
MATEX シーアイマテックス株式会社  
〒104-8321  
東京都中央区京橋1-18-1  
八重洲宝町ビル  
Tel:03-5250-8083  
Fax:03-5250-8082  
<http://www.belbien.net/>

指はさみ事故を  
防止する、安全・安心の  
トイレブース

## ※「ゆびテクト」 by デコラヴィータ

「デコラヴィータ」は、メラミン化粧ソリッドパネルです。耐衝撃性に非常に優れており、公共・商業施設や学校のトイレなど、過酷な使用環境にも耐えることが可能です。水に強く、耐汚染性にも優れ、メンテナンスが容易でいつもトイレを清潔に保ちます。

「ゆびテクト」はデコラヴィータに曲げ加工を行い、扉とパネルの間に隙間を作ること、指はさみ事故の危険をなくした商品です。曲げることで角度がつき、ブラインドの役割も果たしますので、いたずらの防止にも貢献します。

※「ゆびテクト」は信越ユニット株式会社の商品名です。



◆住友ベークライト株式会社  
〒140-0002  
東京都品川区東品川2-5-8  
天王洲パークサイドビル  
Tel:03-5462-4170  
Fax:03-5462-4892  
<http://www.sumibe.co.jp/>

学校のトイレ研究会はより良い学校のトイレ環境作りを目指して、  
 トイレ関連企業7社により、1996年に発足しました。  
 以来、各社の情報力、技術力を生かしながら、調査・研究・啓発活動を継続しています。

子どもたちが望む洋式化、  
 環境配慮のための節水、  
 最新技術でご提案します

## 「TOTO和洋リモデル工法」

TOTOは30年以上前よりユニバーサルデザインについて研究を重ね、学校・幼児施設向けの設備機器を品揃えしてきました。また、環境配慮の観点から最新技術の粋を集めて節水化を進めております。老朽化した多くの学校のトイレでは、大便器1回の洗浄に約13Lの水が使用されていますが、最新の節水型大便器では6L/回以下と大幅なランニングコスト削減を実現できます。

TOTOでは、階下に影響を与えない1フロア工事で、わずか2日間で和式便器を洋式便器に取り換えることのできる「和洋リモデル工法」を開発いたしました。発売から10年が経過し、お客様の信頼を得ながら、4万台を超えました。学校トイレの改修に是非おすすめいたします。



あしたを、ちがう「まいにち」に。  
**TOTO**

TOTO株式会社  
 販売統括本部 リモデル営業推進部

〒150-0032  
 東京都世田谷区桜新町2-24-2  
 Tel:03-5451-1193

学校トイレに関する情報カタログはこちら  
<http://www.com-et.com>

みんなにやさしい  
 ベストのトイレ金物

## 「カラーユニバーサルデザイン」

ベストではユニバーサルデザイン(UD)の基本理念に基づいた製品作りを取り組んでいます。

暗い場所でも鮮やかに見えるトイレのカラー表示。正しく情報が伝わるように工夫した凡例シール(4ヶ国語対応)。

ベストのトイレ金物は、NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構(CUDO)に、建具金物として唯一初めて認定されました。

より多くの方にやさしく、安心してご使用頂ける製品を提供いたします。



カラーユニバーサルデザイン機構認定

※現在オプション品として対応中



株式会社ベスト

〒101-0035  
 東京都千代田区  
 神田紺屋町41  
 Tel:03-3257-7711  
 Fax:03-3254-7782

<http://www.best-x.co.jp>

快適でメンテナンスしやすい  
 学校トイレのために

## 「トイレ用床材」サニタリウム

1947年、日本初の塩化ビニル製品の製造に成功して以来、ロンシールは業界のフロンティアとして、床材を中心とした多くの産業や人々の暮らしに関わる様々な製品・サービスを提供してきました。

「学校のトイレ研究会」にも発足当時から参加し、学校トイレの快適化のためのご提案をさせていただいています。

2007年には業界初となるトイレ用床材「サニタリウム」を発売。「サニタリウム」は厚い防汚表面層が尿によるシミ・汚れや、トイレ洗浄剤カビ取り洗浄剤による変色から強力にガードするトイレ用の床材(ビニル床シート)です。さらに、ワックス無しでも汚れが付きにくく、付いた汚れも取れやすいため、メンテナンスしやすく、乾式清掃に最適です。発売以来、多くの学校や教育施設で採用いただいています。



ロンシール工業株式会社

〒130-8570  
 東京都墨田区緑4-15-3  
 Tel:03-5600-1821  
 Fax:03-5600-1890

<http://www.lonseal.co.jp/>

## 編集後記

学校のトイレ研究会は、2011年度に活動15年目を迎えます。これまで研究会は、小・中学校を中心とした事例や自治体の取組みをご紹介してきました。今回初めて、高等学校の先進事例を集めて、頂きましたが、いかがでしたでしょうか？

個人的な経験からも、思い出す程に目を覆うばかりの暗くて臭い汚い学校トイレでしたが、調査を進めていく中で、その20〜30年前のトイレが依然と使用されている現状にただ驚くばかりでした。この研究誌が、トイレを含めた学校全体の環境改善・施設向上のお役立ちとなりますよう何より願っております。

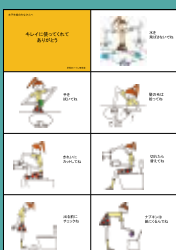
最後に、取材ならびにアンケートにご協力して下さった皆様にご心より深く御礼申し上げます。

学校のトイレ研究会

古川 浩代

## 学校のトイレ研究会制作 「トイレのマナーポスター」

このままコピーして貼ってOK!  
 必要なところだけを切って貼って頂いてもOK。  
 素敵な学校トイレづくりの一助になれば幸いです。





## 学校のトイレ研究会

当研究会は、  
学校トイレの実態を  
ソフト・ハード面にわたって  
調査・研究することにより、  
児童・生徒が安心して使える  
清潔で快適なトイレを具体的に  
提案・普及していくことを目的に、  
トイレ関連企業により  
1996年11月に発足いたしました。  
発足以来、毎年研究誌を発行し、  
各種講演会を実施するなどの活動を  
継続しています。

### 学校のトイレ研究会 ホームページ

<http://www.school-toilet.jp>

学校のトイレ作りに役立つ、  
さまざまな情報を掲載しています。

- 学校トイレ改修のさまざまな事例
- トイレ作りのポイント
- 清掃やメンテナンスの方法
- トイレ整備にかかわる補助制度
- 全国の自治体を対象にした調査結果



### 学校のトイレ研究会 研究誌

学校のトイレ研究会は発足以来、  
学校トイレ作りの調査・研究の  
成果をまとめた研究誌を  
毎年、発行しています。  
ホームページで閲覧、  
取り寄せができます(無料)。



学校のトイレ研究会研究誌 14号

# 学校トイレの 挑戦

2 0 1 1